

同志社大学

2009年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2010年3月20日提出

所属	職名	氏名
文学部	准教授	下楠昌哉
研究題目	民話の芸術作品への変容とそのグローバル化ーブリテン諸島にみられる「あざらし女」の民話を中心に	
研究成果の概要	<p>7月27日より31日までグラスゴー大学で行われたIASIL(国際アイルランド文学協会)大会に参加し、28日に研究発表を行った。タイトルは、"Selkies" in Mineko Matsumura's Translation of Fiona Macleod: Connecting Ireland, Scotland and Japan。8月10日より18日までグラスゴー大学で、19日より25日までオークニー諸島のメインランドで、資料収集を行った。オークニーでのフィールドワークを中心に、成果は研究ノート"Selkies in Orkney: Storytelling and the Literary Imagination"として、<i>Doshisha Literature</i> Nos 82 & 83に掲載予定(印刷中)。</p> <p>※以上は同じ研究題目で平成21年度科学研究費補助金(基盤研究(C))の交付が認められた研究の成果でもある。課題番号は21520295。</p> <p>上記の他に、専門であるアイルランド文学に関係する分野での研究成果は以下である。</p> <p>『アイルランド・ケルト文化を学ぶ人のために』(共著)風呂本武敏編、京都:世界思想社。(「歴史に手を触れよ:北アイルランド問題と現地における地域宥和運動の実例」、pp.74-85を執筆。)</p> <p>「群島の中のジョイス:今福龍太『群島ー世界論』におけるジェイムズ・ジョイス」『主流』(同志社大学英文学会)71:21-37.</p> <p>Book review on <i>Bram Stoker's Lady Athlyne</i>, annotated and introduced by Carol Senf (Southend-on-Essex: Desert Island Books, 2007), <i>Journal of Irish Studies</i> (IASIL JAPAN) 24: 113-4.</p> <p>Book review on Kazuhiro Doki, <i>Mono・Gatari no Ulysses: naratorojikaaru apuroochi</i> (Tokyo: Nanundo, 2009) <i>Journal of Irish Studies</i> (IASIL JAPAN) 24: 118-9.</p> <p>また、2009年度同志社大学研究成果刊行助成を受け、訳書A・L・マカン『黄昏の遊歩者』(国書刊行会)を出版した。この訳書に付した作家論「A・L・マカンあるいはアンドリュウ・マカンとして:文学と批評のアヴァン=ギャルドを目指して」(pp.452-67)は、この作家に関して日本語で書かれた、最初の包括的紹介であり、評論である。</p>	